



海老固め



川崎ゆきお

「海老の背を伸ばすようなまねはよくない」「でも姿勢が悪いと言われてまして」「猫背で、しかも背を丸める癖がつき、そうなったのでしょうか。それはごく自然なことで、無理のない姿勢なのです」「そうなんですか」「じゃ、少しやってみますか」海老固めとは、丸くなっている海老の背をのばすことだ。これは痛い。「痛いです。痛いです」「そうでしょ。ある一点に力が掛かり、その負荷で痛いのです」「でも、この姿勢を何とかしたいのです」「それが一番あなたにとって都合のいい姿勢なんです。もし治してたければ、性格を変えることです。つまり、胸を張って堂々としているような性格に」「それは無理です」「下を向かないで、上を向く性格にね」「姿勢だけはできますが、だるくなります。首が」「そうでしょ。だから、治す必要はないのです」「性格を正せば、猫背も直りますか」「あなたの猫背は、生まれつきです」「じゃ、性格が形成される前から、そうなんですか」「そうです。だから、そういう性格になっているのです」「そういう性格とは？」「うつむき加減の性格です。これは最初からそうなのです。先天的なものです」「生まれながら、性格が決まるのですか」「卵の状態から、決まっています」「じゃ、姿勢を正しても無理なんですね」「そうです。ガタイの中に性格が乗るのです」「ガタイって、何ですか？」「体つきです」「分かりました」青年は立ち上がった。その性格上、それ以上お願いしないようだ。「初診料はいただきますよ」「はい、診ていただいてありがとうございました」「少し高いですが、今後、無駄なことはしなくてもいいので、結果的には安くなります」「はい」青年は背を丸めて、診断室を出た。海老固めされるのなら、このままでもいい。これも、性格がなせる選択だった。了